



■ 東日本旅客鉄道株式会社

JR 東日本グループは、「ヒト（すべての人）」を起点に「安全」「生活」「社員・家族の幸福」にフォーカスし、都市と地方、そして世界を舞台に、“信頼”と“豊かさ”という価値の創造を目指しています。

グループ一体となって、UNGC の提唱する 10 の原則を遵守し、SDGs の達成や持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

8月13日付でJR東日本グループが登録

BREAKING
NEWS

不法行為とハラスメントが蔓延する不健全かつ倫理観の欠如した企業運営の中、 「国連グローバル・コンパクト」に賛同を表明し署名を行う。

国連グローバル・コンパクトとは、国際連合が提唱する「持続可能な成長を実現するための世界的な枠組み」のことです。人権の保護・不当な労働の排除・環境への取り組み・腐敗防止の 4 分野・10 の原則を掲げています。企業トップ自らの積極的な関与のもとに、その実現に向けて努力を継続すること。また「実践状況と成果に関する報告書」を毎年提出することが義務として求められています。

NEWS



◆ 4 分野・10 の原則に書かれている一部を紹介します。

人権	原則1	国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
	原則2	自らが人権侵害に加担しないように確保すべきである。
労働	原則3	結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
	原則6	雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。



詳しくは、QR
コードから検索

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

(原則1)企業が日常活動を通じて人権を支持・尊重している例

✓安全かつ健全な労働条件を提供する。 ✓結社の自由を保障する。 ✓人事慣行における差別禁止を徹底する。

(原則3)企業にできること

(職場において) ✓すべての労働者が脅迫や報復を恐れることなく、国内法に従い、自己の選択によって労働組合の結成と加入ができるようにすること。

✓労働組合の組織、加入、および、求職や昇進、解雇または転勤の決定などの活動に関し、差別を禁止する方針と手順を導入すること。

✓労働者代表が企業の通常業務を混乱させない形で活動を行っている場合、これに干渉しないこと。

(交渉の場において) ✓有意義な交渉とするために必要な情報を提供すること。

(雇用と職業に関する差別とは) ✓その人の能力にも、また該当する職務に必要な固有の要件にも関係のない特徴を理由に、他者とは異なる、もしくは不利な処遇を行うことを意味する。(労働組合への加入など)

4分野・10の原則を履行させて健全なJR東日本をつくり出そう！